

教員名	椎尾 一郎 (SIIO Itiro)
所 属	理学部情報科学科情報処理講座
学 位	工学博士 (1984 東京工業大学)
職 名	教授
URL / E-mail	<a href="http://www.siio.jp/">http://www.siio.jp/</a> / <a href="mailto:siio@is.ocha.ac.jp">siio@is.ocha.ac.jp</a>

## ◆研究キーワード

ヒューマンコンピュータインタラクション / ユビキタスコンピューティング

## ◆主要業績

総数 ( 21 ) 件

- ・山木 妙子, 椎尾 一郎, 身体装着型光学マウスによる人の立ち位置検出, インタラクション2007論文集, 情報処理学会シンポジウムシリーズ, ISSN 1344-0640, Vol. 2007, No. 4, pp.187--188, 2007.3.15-16.  
( <http://siio.jp/projects/papers/i2007sippo.pdf> )
- ・椎尾一郎, 辻田 眸, 文鎮メタファを利用した小型情報機器向けインタフェース, 情報処理学会論文誌, Vol.48, No. 3, pp. 1221-1228, Mar. 2007. ( [http://siio.jp/projects/papers/ipsj\\_bunchin.pdf](http://siio.jp/projects/papers/ipsj_bunchin.pdf) )
- ・椎尾 一郎, 辻田 眸, 岩渕 絵里子, 文鎮メタファを利用したペンインタフェース, 第14回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ (wiss2006), 日本ソフトウェア科学会研究会資料シリーズ, ISSN 1341-870X, No. 43, pp. 41-46, 2006.12.6-8. ( [http://siio.jp/projects/papers/wiss\\_bunchin.pdf](http://siio.jp/projects/papers/wiss_bunchin.pdf) )
- ・辻田眸, 塚田 浩二, 椎尾 一郎, Sync Decor: 遠距離恋愛支援システム, 第14回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ (wiss2006), 日本ソフトウェア科学会研究会資料シリーズ, ISSN 1341-870X, No. 43, pp. 17-22, 2006.12.6-8. ( [http://siio.jp/projects/papers/wiss\\_syncdecor.pdf](http://siio.jp/projects/papers/wiss_syncdecor.pdf) )
- ・椎尾 一郎, 浜田 玲子, 美馬 のゆり, Kitchen of the Future: コンピュータ強化キッチンとその応用, コンピュータソフトウェア (日本ソフトウェア科学会) Vol. 23, No. 4, pp. 36-46, ISSN0289-6540, 岩波書店, 2006  
( <http://siio.jp/projects/kitchen/papers/kitchen06.pdf> )
- ・Itiro Siio, Hitomi Tsujita, Mobile Interaction Using Paperweight Metaphor, Proceedings of the 19th Annual ACM Symposium on User Interface Software and Technology (UIST 2006), pp. 111--114, October 15-18, 2006, Montreux, Switzerland. ( <http://siio.jp/projects/bunchin/p111-siio.pdf> )
- ・Itiro Siio, Hitomi Tsujita, Mobile Interaction Using Paperweight Metaphor, CHI 2006 Conference Proceedings and Extended Abstracts, Conference on Human Factors in Computing Systems, pp.1325--1330, April 22-27, 2006, (Montreal, Canada) ( <http://siio.jp/projects/bunchin/ea1325.pdf> )

## ◆研究内容

ユビキタスコンピューティングのアプリケーションとヒューマンインタフェース手法の提案と開発。

## ◆教育内容

ヒューマンコンピュータインタラクション一般および、家や生活をテーマにしたコンピュータ利用とインタフェースに関する研究指導。

## ◆Research Pursuits

Studies and development of applications and human computer interaction methods for ubiquitous computing.

### ◆共同研究例

コンピュータ組み込みキッチンとこれを利用したアプリケーション. 遠距離で暮らす家族などを支援するアンビエントなコミュニケーション手段.

### ◆共同研究可能テーマ

- ・コンピュータ組み込み住宅のアプリケーション
- ・記憶, 物探し, ネットワーク情報の表示などを行う家具や調度品の開発

### ◆将来の研究計画・研究の展望

2007年度中にキャンパス内にユビキタスコンピューティング実験住宅を建設予定. これを中心に, 生活環境でのコンピュータ利用とユーザインタフェース手法の提案, 開発, 実装, デモを行っていききたい.

### ◆受験生等へのメッセージ

コンピュータが小型, 安価になることで, 日用品としてのコンピュータ利用が今後ますます進展すると予想されています. このようなコンピュータ利用形態をユビキタスコンピューティングと呼んでいます. ユビキタスな日用品になったコンピュータが一般的になることで, 情報科学の分野において様々な課題が浮かび上がってきます. パーソナルコンピュータの実現により, コンピュータ利用の場は, 研究所, 工場, 企業など, コンピュータ専門家が作業する場所から, 一般オフィスやSOHOなどにシフトしました. 同様に, 近未来においては, ユビキタスコンピューティングの実現により, 家庭でのコンピュータ利用がますます進展すると考えられます.

